

事務事業評価表（補助金等）

1次評価日（主幹等） 30年7月3日

2次評価日（課長等） 30年7月3日

1 事業名	夏休み子ども交流事業負担金			事務事業コード	102304	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習活動センター	担当者	高山 理恵
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	生涯学習の推進	施策	青少年の健全育成	
		事務事業	夏休み子ども交流事業負担金			
		予算科目	青少年活動育成支援事業	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
	根拠法令等					

●事業の内容（D0）

4 補助等の内容	* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容			
① 性質	負担金	② 期間	H21 年度 ~ 年度	
補助金の種別	—	③ 対象	その他	
④ 制度の内容	<p>姉妹都市交流事業負担金。平成20年度までは、学校行事の位置づけで実施していたが、夏季休暇中の対応が困難になったことや、岡谷市子ども会育成連絡協議会及び岡谷市リーダーズ倶楽部の協力が可能になり、平成21年度からは、教育委員会及び岡谷市子ども育成連絡協議会主催で実施している。受け入れは隔年。</p> <p>岡谷市は、学校が一切関わらないため、東伊豆町に出向く年は、岡谷市民病院に、看護師の同行をお願いしている。東伊豆町は、小学5年生を、岡谷市は、小学5・6年生を対象としている。中学生リーダーズもサポートとして参加している。</p>			
⑤ 積算方法				
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	<p>同年代の姉妹都市の子ども同士が交流することで、思い出づくりや、将来につながる経験として残ることを期待する。</p>			

5 補助等の実績

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	1	1	1	1
実際の支出件数	1	1	1	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）				
予算額	600,000	732,000	600,000	663,000
財源内訳	600,000	732,000	600,000	663,000
一般財源				
特定財源				
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	442,349	550,014	434,864	
予算執行率	73.7%	75.1%	72.5%	
支出額の前年度比		124.3%	79.1%	

③ 29年度の交付先

事業会計として運用。市の姉妹都市交流事業であるため、交付していない。

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価		* 妥当性 = 行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	低い
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		0		5
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			2
③	全ての対象者に交付している。	1			
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。		0		
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。		0		
⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答				妥当性 (2次判定)	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。				0
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。				2
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。				
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。				
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、用途を検証している。				

7 有効性評価		* 有効性 = 成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性	高い
評価項目		はい	いいえ		
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1			
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1			
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1			
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1			
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比	100.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること)
	東伊豆町も岡谷市も、参加希望者が定員を下回っている。
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	今後、ニーズを踏まえ、対象者やコース等を見直す必要がある。
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------